

# 圃場や作業の情報管理をお手伝い

※ 圃場地図上で作付けや作業進捗をビジュアルに管理※

～ 「作業計画・管理支援システム」の開発～

生産支援システム研究近中四サブチームでは、圃場や作付け、栽培管理作業に関する情報を、Windows PC（Windows OS の搭載されたパーソナルコンピュータ）上で圃場の地図を表示しながら視覚的に管理できるソフトウェアを開発し Web 上で公開しています。

## ● 圃場地図上表示により一目で状況を把握

この「作業計画・管理支援システム」の最大の特長は、データ入力された圃場や作付け、作業などについての情報を圃場地図上に着色表示して一目で状況を確認できることです（図1）。

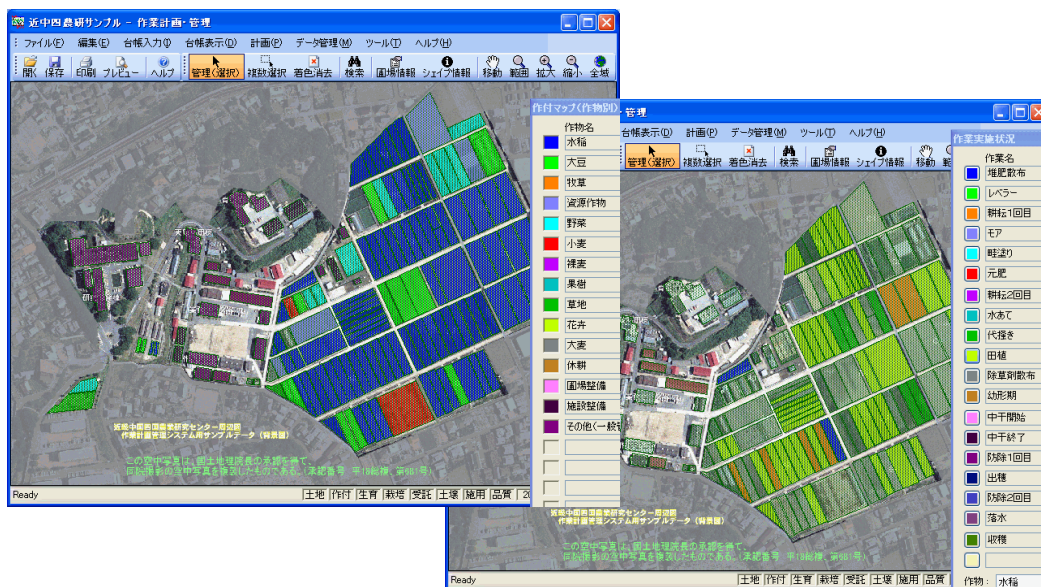


図1 「作業計画・管理支援システム」画面例  
(左：作付け状況表示、右：作業進捗状況表示)

このシステムには、圃場情報（地図、所有者、地番、

面積、土地利用、など)、圃場所有者や作業者の情報、栽培する作物の情報、使用する肥料や農薬、機械などの情報、圃場ごとの作付けや日々の栽培管理作業などの情報を入力できます。これらの情報をデータとして入力・蓄積していくことで、農地の管理や作付け・作業についての情報管理や書類作成事務をお手伝いできるようになっています。

● 入力データに基づき情報管理事務を効率化

このシステムによる栽培管理事務省力化の一例として、入力されたデータ（農家情報や作付け情報）に基づいて「水稲共済細目書異動申告票」(マイクロソフトエクセルで作成された様式) という書類を自動作成できます。これにより、役所と連携して春先の面倒な書類作成事務を効率化できます(図2)。

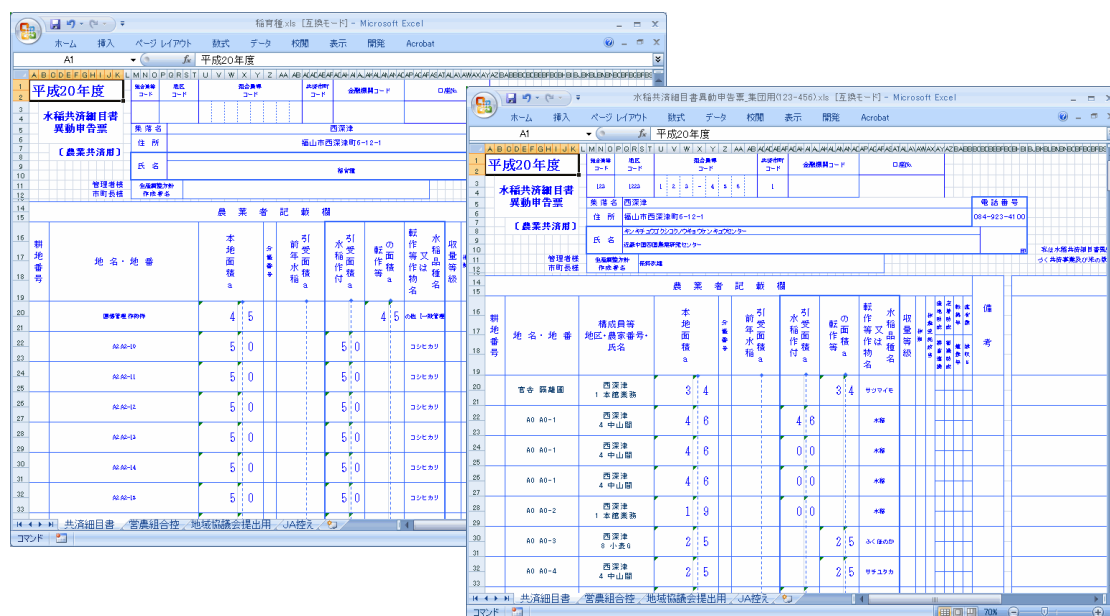


図 2 水稲共済細目書異動申告票作成支援機能  
(左：個人農家用、右：生産集団用)

この他にも、エクセル様式として作成された色々な書類を作成できるようにしていく予定です。

## ● データ一括入力できるように工夫

このようなシステムもデータが入力されなければ意味がありません。しかし、数十～数百の圃場を管理していると、一つ一つの圃場について日々入力するのは大変です。そこで、できるだけ複数の圃場に対して一度にデータ入力できるようになっています（図3）。



図3 データ一括入力の操作例

(左から圃場検索 → 選択圃場画面 → 一括入力)

## ● 圃場地図の作成にも対応

このシステムを運用するには、対象となる地域の圃場地図が必要となりますが、システムに含まれている圃場地図作成支援ソフトウェアを使って地図を作成したり毎年更新したりできるようになっています。

## ● Web公開と普及・利用状況

このシステムは Web サイトで公開されているので、Windows PC とインターネット接続環境があれば、無償でダウンロードし使ってみることができます。

2007年6月の公開以降2008年6月末時点で200名を越える方々のダウンロード利用があり、その中には

「農業経営に即活用」ということで利用いただいている例もかなりあります。

このシステムは利用者みなさまから寄せられた意見・要望を踏まえながら現在も進化し続けています。最新情報や入手方法についてはシステム情報公開サイト（<http://www.aginfo.jp/PMS/>）をご覧ください。

（生産支援システム研究近中四サブチーム）